

福祉は 人間の幅を 広げるしごと

みやがわ ちか
宮川 知佳さん

特別養護老人ホーム勤務
介護職／同和園／30歳
龍谷大学社会学部卒

え、職員がみんなで利用者さんのことを真剣に考えていると感じた今の職場に就職することになりました。

●自分の幅を広げられる仕事

大好きだった利用者さんを看取ったことがあります。そのご家族から「最期まで付き添ってもらってありがとう」というお礼の手紙をいただいたときは、本当にうれしかったです。利用者さんはもちろんのこと、ご家族から相談を受けるなど仕事の幅を広げて、安心してもらえる存在になることを目指しています。現在は息子

を施設内の保育園に預けて時短勤務をしています。通常、職員はひとつのユニットの中で働くのですが、時短の関係上、必要に応じて複数のユニットへフォローに入る形で勤務しています。いくつかのユニットに入ってわかったことは、それぞれにいろんな工夫をしていることです。様々な視点をもつ大切さを学んで、これからはユニット間の架け橋となり、施設全体のケアの質を上げ、もっと利用者さんの人生をサポートできるように頑張っていきたいと思っています。

\\ ワタシの成長のキッカケ //

入職当時、利用者さんに「あれもこれもやってあげたい」と意気込んでいましたが、限られた時間のなかではできませんでした。最近は物事の優先順位をつけて、本当に必要なことを見極めてケアできるようになりました。



その人に本当に必要なケアとは

\\ ワタシのプライベート //

息子と粘土で遊んだり、一緒に昼寝をしたり、デパートに買い物に行ったりと息子中心の生活ですが、それが幸せです。夫も同じ施設に勤めており、お互いの仕事を理解し合いながら、子育てを協力してやっています。



子育てを満喫

●「お年寄り好き」が原点

子どものころ祖父母と同居していて、一緒に散歩やゲートボールに行き、その先でほかの高齢者と話す機会もあり、もともとお年寄りが好きでした。小学生の時から、すでにホームヘルパーになりたいという思いがあり、高校と大学は福祉系の学校に進学しました。大学時代には福祉関係のアルバイトをいろいろ経験して、就職活動では訪問入浴を専門とする仕事など福祉業界を広く見渡しましたが、高齢者が起きてから寝るまでのすべてをお手伝いしたいと考



インカムとタブレットで利用者さんの情報を共有



打ち合わせはこまめに行います